

事業計画書概要版

1 市民の平等な利用が確保されること。

(1) 管理運営方針等

- ・「高齢者の健康づくりを推進する場」「スポーツを通じて成長できる場」を提供する。
- ・利用者に「おもてなしの心」で接し、安全・安心して利用できるよう安定した運営を目指す。
- ・新たな利用者の発掘につながる自主事業の企画、利用者へのサービスや利便性の向上を図る。
- ・気軽にスポーツに慣れ親しむ機会や場を提供し、利用者の健康づくりを支援する。

(2) 平等利用

- ・施設について、地域や市全体への周知、定期的な広報誌作成やホームページでの案内、民生委員児童委員や公民館、関係機関との連携・広報に努める。
- ・公平で参加しやすく円滑な利用者会議を開催する。

2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること。

(1) 利用の促進

- ・利用者が満足できるサービス提供に努め、口コミにより利用者増を目指す。
- ・個人情報に配慮し、広報誌やポスターを定期的に作成、SNS等を活用し、活動内容やイベント情報を発信する。
- ・オンラインによる小学校等の子どもたちを含めた世代間交流により刺激のある介護予防教室を開催する。
- ・養護老人ホーム入居者の利用の促進（送迎等を養護老人ホーム職員が支援）により交流を図り、利用者の増加に繋げる。
- ・個人での参加促進のために、情報発信に努める。

(2) サービス・利便性の維持向上

- ・サービス提供ノウハウを活かせる職員の配置による、専門性と質の高いサービスを提供する。
- ・山田温泉が隣接している利便性を活かした快適な環境を構築する。
- ・健康の館の環境を活かしたノルディックウォーキング等の運動プログラムを構築し、健康寿命を延ばす取り組みを行う。

3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること。

(1) 経費配分

- ・サービスの質が低下することのないよう計画的な予算執行による経費の節減に努める。

- ・適正な人員配置と、能力やがんばりに応じた人件費の適正な管理に努める。
- ・機械、器具等の保守管理点検は業者へ業務委託を行い、経費削減のため入札参加により業者決定する。
- ・技術を要する部分の清掃については、入札により業者を決定し業務委託を行う。
- ・施設館内清掃は職員を中心に行う。

4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること。

(1) 物的能力

- ・法人としては、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービス、障害福祉サービス事業、保育園等、多数の施設を有しており、養護老人ホーム2施設の指定管理者でもある。

(2) 人的能力

- ・配置基準を満たし、上質なサービスを提供できる職員を配置する。
- ・職員の適材適所による配置と経験のある役職者を配置し勤務体制及び責任体制を整える。
- ・連絡体制は必要時や緊急時はSNSやテクノロジーを活用し構築する。
- ・相談、苦情に対して、スマイリング・パークの接遇システムを習得したスタッフが真摯に対応する。

5 地域に貢献する取り組みが確保されていること。

- ・職員は都城市民から積極的に採用するよう募集する。
- ・地元の公民館に加入し、地域の活動に参加する。
- ・「地域密着型の健康づくり支援システム」を構築し、「健康づくり運動サポーター」を養成し地域全体の健康づくりに貢献する。

6 その他公の施設を管理するに当たり必要な基準に関すること。

- ・職員は当該施設の現職員を継続雇用するとともに、独自の研修システムを行い、希望者は正職員への登用のチャンスやキャリアアップの機会を与える。
- ・利用者の介護移行を予防するためにレクレーション指導に力を入れる。
- ・高齢化に伴う心臓や血管機能の低下、血圧の上昇などを未然に防ぐ「予防医学」「健康寿命」を延ばすことに取り組む。
- ・防災計画、非常時連絡体制を整備する。
- ・急病時の対応は、速やかに応急措置を行い救急車を要請するとともに、近隣事業所にいる看護師との連携を図る。